

# 一般質問



台東区議会自由民主党・無所属の会

いしづか たけし  
**石塚 猛**

## 特定優良賃貸住宅について

**問** 特定優良賃貸住宅は、新たな入居者が増えず、空き家が増加傾向にあると聞く。この原因は何か。今後、空き家を解消するため、どのように取り組んでいくのか。**答** 特定優良賃貸住宅は、家賃補助額が毎年減少していく仕組みであり、民間の賃貸住宅と比較して家賃の割安感が薄れてきていることなどから、空き家が増加する傾向にある。空き家の解消は区の重要な課題と認識しており、入居資格の在住・在勤要件を廃止し、区外の方も申込みができるように制度の見直しをした。今後は、ホームページ等の内容の充実、募集案内の配布窓口の拡大、不動産業者との連携等により、入居促進に一層

**その他の質問項目** 1. コンビニエンスストアについて 2. 都市交流について



たいとうフロンティア

みずしま みちのり  
**水島 道徳**

## 観光都市台東について

**問** ①観光バス駐車場の整備が難しい中、今後、より一層多くの観光客を誘致していくには、計画的に駐車場への配車を行うなど、観光バスが乗り入れる環境づくりが必要ではないか。②無料のWi-Fiスポットの導入について都に要望し、環境整備を図るべきではないか。③観光バスの駐車場対策は交通対策課で検討を行っているが、組織面での充実が必要ではないか。**答** ①当面の対策として、区民会館大規模改修に伴う臨時駐車場を整備する。今後、駐車場の整備とともに、乗降場所の分散化を図り、観光バスが円滑に移動できる環境づくりが必要である。観光バスの実態調査等を行い、対策を検討していく。②喫緊の課題であり、観光スポットや商店街等への支援を都に要望していく。③交通対策課は、交通分野における課題への対応に有



台東区議会公明党

てらだ あきら  
**寺田 晃**

## 「介護支援ボランティアポイント制度」について

**問** 全国に広まっている「介護支援ボランティアポイント制度」事業は、高齢者の生きがいづくり、介護予防など様々な効果がある。他自治体を視察した際、本制度により市民が元気になり、またポイント利用についても地域性を踏まえるなど、制度の利用促進が期待できると実感した。本区では第5期高齢者保健福祉計画の中で本制度の導入を検討するとしているが、どのように進めていくのか。**答** 元気な高齢者の方々が福祉施設等でボランティア活動を行うことは、地域貢献や自らの健康増進等、様々な観点から大変重要である。現行の第5期高齢者保健福祉計画において、既存のボランティア活動との整合性やポイントの利用方法など、課題の整理を行っている。今後も、他の自治体の先進事例も参考にし、制度の具体化に向け検討していく。

**その他の質問項目** 1. 「安全なまちづくり」について 2. 「商店街対策」について



台東区議会みんなの党・無所属クラブ

すずき いちろう  
**鈴木 一郎**

## 地方分権について

**問** ①地方分権改革の現状について、どのように評価しているのか。②地方分権が進展するなか、区長の掲げる「にぎわい いきいき したまち台東」の実現に向け、どのように取り組んでいくのか。**答** ①地方分権改革は、住民に身近な行政は地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにすると

取り組んでいく。

## 旧東京北部小包集中局跡地について

**問** 旧東京北部小包集中局跡地については、これまで本格活用として清掃車庫を、また、暫定活用として自転車保管所及び観光バス駐車場を整備してきたが、将来の活用についての区の考え方は未だ示されていない。暫定活用が終了する平成28年3月までの期限を考慮すると、活用についての区の考えを早急に示す必要があるのではないかと。当該用地の活用については、所管委員会での議論はもとより、議員の皆様から様々な提案を受けている。区でも、基礎調査の結果や行政需要等を踏まえながら、鋭意検討を行っている。現在までのところ、区の考えを取りまとめるには至っていない。今後は、これまでの議会での議論や検討経過を踏まえ、新たな手法として、民間事業者からの提案を受ける場を設ける等、可能な限り早急に、将来の活用に対する区の考えを取りまとめていく。

効に機能している。観光バス駐車場対策や区内循環バス新路線の検討においては、庁内に検討組織を設置し、組織的に対応を図っている。

## 教育環境について

**問** ①学校施設の老朽化には、国の長寿命化改良事業を採用する等、中長期的な対策が必要ではないか。②子どもの体力・体調や教育環境の格差は正の観点からも、中学校の体育館の冷暖房化を未整備校へ計画的に進めるべきではないか。③インターネット依存の低年齢化について、どのように考えているのか。**答** ①耐震補強をはじめ、大規模改修による設備更新等を適切に行ってきた。中長期的な大規模改修等の整備計画については、引き続き検討している。国の長寿命化改良事業による手法も十分検証していく。②大規模改修等の機会を捉え整備してきた。整備の時期や手法等は重要な課題として、引き続き検討していく。③各学校に情報モラルのあり方を示した教材を配布・活用させるとともに、警察の指導によるセーフティ教室等を実施してきた。保護者会においても啓発をする予定である。今後もインターネットの活用に関する実態調査を継続的に実施し、学校を通じて啓発していく。

## 「健康づくり対策」について

**問** ①区民の生活習慣病の予防、健康の保持増進のため、本区では、健康増進センターにおいて健康運動指導士による個別プログラムのトレーニングや、各種体操教室を行っている。区民の健康増進のためには、健康増進センターの登録者の更なる促進、総合健康診査や各種検診の受診率向上と、健診受診後の健康指導の充実、健康増進センターの利用促進を図るべきと考えるがどうか。②静岡県では、市民が取り組む健康づくりの活動をポイントに換算し、特典を受けられる「健康マイレージ事業」が行われている。本区においても、個人の健康スタンプカードを作成し、健康増進センターを利用した場合等にポイントがもらえる「健康スタンプラリー」を導入してはどうか。**答** ①区民の健康づくりを進める上で、総合健康診査や、がん検診は重要であり、健康たいとう21推進計画において、受診率向上を取り組みの方針として掲げ、対策の充実にも努めている。また、運動習慣の定着は生活習慣病予防対策の重要な柱であるため、健康増進センターの利用促進に向け、広報たいとうやスポーツガイドマップでの紹介、運動教室の新設などを行ってきた。今後、健康イベント等の活用などにより、積極的に周知を図っていく。②区民の健康づくりへの関心や意識を高め、主体的な取り組みへの動機づけになると考えられるため、先行自治体の事業内容や効果について研究していく。

共に、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組めるようにするための改革である。これまでの一連の改革により、国と地方の協議の場の法制化や、地方公共団体の自治事務について国が法令で事務の実施やその方法を規定する、義務付け・枠付けの見直し、条例制定権の拡大など、一定の成果があがっているものと認識している。しかし、権限に見合う十分な財源が確保されおらず、税源移譲等による適切かつ確実な財源措置が講じられる必要があると考えている。②地方分権の進展により、区には新たな権限と責任が生じてくる。権限を有効に活用し、本区の特性を生かした独自の施策を積極的に展開していくことで、「にぎわい いきいき したまち台東」の実現を図っていく。



日本共産党台東区議員

はしづめ たかし  
**橋詰 高志**

## 国民健康保険について

**問** ①国民健康保険加入者の暮らしについて、どのように認識しているのか。②減額してきた国庫負担を元に戻すため、どのように行動してきたのか。③国民健康保険運営協議会のあり方を見直すべきではないか。④国民健康保険料の値下げ・抑制の努力を続けるべきではないか。⑤後期高齢者医療保険料の値上げには、反対すべきではないか。**答** ①区民からの相談を受ける中で、厳しい生活状況の方もいると感じている。来年度より、均等割保険料の軽減対象の拡大等により、低・中間所得者層の負担軽減が図られることとなっている。②全国市長会等を通じ、国に申し込んでいる。③国保事業の運営上、重要な事項について諮問し、審議をお願いしている。各委員の意見は真摯に受け止め、事業の運営に活かせるよう努めている。④医療費の適正化等に取り組むとともに、特別区長会等においては、能力に応じた公平な負担を基本に議論に臨んでいる。⑤後期高齢者医療制度の次期保険料については、

**その他の質問項目** 1. 無料低額診療事業について 2. めぐりんと都バス東42乙路線について



台東区議会自由民主党・無所属の会

すずき じゅん  
**鈴木 純**

## 特殊詐欺被害撲滅について

**問** ①オレオレ詐欺等の特殊詐欺の昨年の被害総額は、過去最悪だった一昨年の額を超えた。区内では、さまざまな取り組みにも関わらず相当な被害が生じており、警察との協力や努力がより一層必要ではないか。②消費税率引上げに際し支給される臨時福祉給付金を装った詐欺発生の可能性が高いと考えるが、どのような対策を考えているのか。**答** ①広報たいとう等による注意喚起や、生活安全のつどいなどの各種キャンペーンの開催等、被害防止に向け様々な広報、啓発活動を行ってきた。警視庁では2月を特殊詐欺根絶月間に指定し、注意喚起等に取り組んでいる。今後も、区の巡回パトロール車による広報活動等に加え、より一層、警察、防犯ボランティア団体と連

**その他の質問項目** 1. 観光バス駐車場対策について 2. 史上最高の東京パラリンピック及びオリンピックを実現する為に



たいとうフロンティア

きのした えつぎ  
**木下 悦希**

## 心のバリアフリー・おもてなしの心店の育成に対する取り組みについて

**問** 東京オリンピック・パラリンピックの観光客誘致を行うには、バリアフリー化は欠かすことのできない施策である。しかし、各店舗のバリアフリー化は難しいため、心のバリアフリーを推進することが重要と考える。心のバリアフリーに対する考えを伺う。また、心のバリアフリー・カリキュラムを作成し、カリキュラムを達成した観光に携わる各店舗に対して、「(仮称)心のバリアフリー・おもてなしの心店」のマークを発行するとともに、この事業を世界に発信してはどうか。**答** 東京オリンピック・パラリンピックの観光客誘致には、ハード・ソフトの両面にわたるバリアフリーが必要であると考えている。中でもソフト面での取り組みとして、すべての人が互

**その他の質問項目** 1. 浅草1・2丁目のテーマパーク化に向けてのまちづくりの組織を 2. 上野駅公園口の歩道化に向けての社会実験として土日祭日を歩行者天国に



台東区議会みんなの党・無所属クラブ

ほりこし ひでお  
**堀越 秀生**

## 区民が納得する「みんなの補助金」について

**問** ①浅草観光連盟に対する区の今後の対応について伺う。②町会等や観光イベント等への補助金の役割について伺う。③補助金を受けていない団体等にも、新たな助成を検討すべきではないか。④第三者機関による監査が必要ではないか。**答** ①浅草の観光振興事業は、本区の魅力を発信し、にぎわいの創出等を図るためにも、引き続き実施していきたい。②町会等への運営費に対する補助金は、団体の活動を活性化させ、目的に応じた公益活動の充

**その他の質問項目** 1. 新しい学校をつくらう

区市町村の一般財源投入等により、保険料の増加抑制が実現できたものであり、負担軽減策も図られる。今後も全国市長会等を通じて国へ要望するとともに、広域連合と連携を図り対応していく。

## 成年後見制度と権利擁護事業について

**問** ①市民後見人の育成を決断するにあたり、これまでの成年後見制度の現状をどのように認識し、総括したのか。被後見人の財産を着服するような不正を防止するシステムを作ることができるのか。②生活保護受給者も成年後見制度等を利用できるようにすべきではないか。③低所得者が成年後見制度をより利用できるよう、更に対策を講じてはどうか。**答** ①親族や地域とのつながりが希薄化し、認知症高齢者等の生活支援の低下が懸念されている。今後も認知症高齢者の増加が見込まれ、親族や専門職だけではなく、地域において後見を行う区民の育成が必要だと認識している。区民が成年後見業務を適正に行うための支援や不正防止等についても検討していく。②積極的に検討していく。③社会福祉協議会と連携し、制度の利用促進のための講演会等を実施してきた。今後も分かりやすい周知に努め、個別事例へのきめ細かな対応ができるよう、更なる充実を図っていく。

携を図り、対策を推進していく。②既に広報たいとうで区民に注意を呼びかけたほか、生活安全ニュースに一層の注意を喚起する記事を掲載する。警察や防犯ボランティア団体と情報交換を密にし、被害防止に万全を期していく。

## 幼稚園の待機児童について

**問** 本区では、幼稚園やこども園の短時間保育への入園希望者が増加しており、保育園と同様、待機児童が存在すると呼ばざるを得ない状況がある。今後、本区の就学前人口は増加傾向にあると考えるが、例えば、閉園になった幼稚園をこども園として活用するなど、ニーズに応じていくべきではないか。**答** 区立幼稚園の入園募集人数に対し応募者数が大きく上回る場合には、学級数の増設で対応してきた。しかし、本区の年少人口は増加傾向にあり、現在の規模の募集人数に対し、引き続き入園応募者が上回ることが予想される。このため、就学前教育のニーズの把握に努め、幼稚園の定員や学級編制など様々な手法について検討するとともに、関係者と十分協議を行いながら、良質な就学前教育環境の確保に取り組んでいく。

いに助け合い、思いやりの心を持って相手に接する心のバリアフリーを推進することが重要と認識している。心のバリアフリー・カリキュラムの作成や、このカリキュラムの実施等については、障害者団体と相談していく。また、マークの発行や事業の発信については、東京オリンピック・パラリンピックに向けた新しい視点からの取り組みとして、今後研究していく。

## 今後の特別養護老人ホームの整備について

**問** 今後、特別養護老人ホームの整備をどのように進めていくのか。また、新たな長期総合計画において、大規模用地の活用法の一つに特別養護老人ホームの整備を明記し、推進すべきではないか。**答** 高齢者人口の推移や施設サービス等を必要とする高齢者の状況等を勘案し、将来必要なベッド数を推計し、対応策を検討してきた。現在、民間の社会福祉法人による区内参入を促進するための方策をまとめており、積極的に施設整備を進めていく。また、区が所有する大規模用地の活用については、新たな長期総合計画策定の中で検討していく。

実が図られる。観光・商業イベントに対する奨励補助は、にぎわいの向上に寄与するものとする。③様々な事業者の力が地域の活性化に繋がるよう、適切な支援を行っていく。④個々の補助金ごとに実施の必要性を判断していく。

## 子どもたちの安全のための「小学校学区再編」について

**問** ①現在の学区の安全性について、改善すべきではないか。②学区の再編において、歴史的な課題があるのではないかと。③新たな学校のあり方を検討してはどうか。④学区再編を行うのか。**答** ①通学路の交通規制等の安全対策を行っている。②小学校は、地域等との密接な繋がりを十分に尊重しながら形成された。③安全確保と教育環境の整った学校づくりに努めていく。④慎重な対応が必要である。